　様式第2号（第4条関係）

配慮すべき事項の内容確認書

|  |  |
| --- | --- |
| 配慮すべき事項の確認年月日 | 年　　月　　日 |
| 事業名 |  |
| 事業区域の所在地 |  |
| 事業者 | 所在地  代表者名  電話 |
| 事業計画認定の取得状況（いずれかを丸で囲むこと。） | 取得済み・取得予定 |
| 事業計画認定が取得済みである場合，その認定年月日及び番号 | 認定年月日　　年　　月　　日  番　号 |
| 土地の権利関係（いずれかを丸で囲むこと。） | 自己所有地・購入予定・借地 |
| 工事期間 | 年　　月　　日から  　　年　　月　　日まで |
| 工事時間 | 午前・午後　　時　　分から  午前・午後　　時　　分まで |
| 日曜日又は祝日の工事の有無（いずれかを丸で囲むこと。） | 有・無 |
| 日曜日又は祝日の工事の内容 |  |

１　森林伐採

|  |  |
| --- | --- |
| 森林の伐採の有無（いずれかを丸で囲むこと。） | 有・無 |
| 森林法（昭和26年法律第249号）第10条の2又は第10条の8該当の有無（いずれかを丸で囲むこと。） | 有・無 |

２　雨水処理方法（茨城県の定める開発行為の技術基準第9の基準を満たしていること。）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業区域内の雨水処理（いずれかを丸で囲むこと。） | 事業区域内処理・事業区域外放流 |
| 事業区域内処理の場合，その処理方法（敷地内勾配及び敷材により説明すること。） |  |
| 敷地外放流の場合，敷地外放流検討内容 |  |
| 雨水及び土砂の流出防止の措置内容 |  |

３　土地の形質変更等（国土交通省の定める「宅地防災マニュアル」を参考にすること。）

|  |  |
| --- | --- |
| 3，000平方メートル以上の土地の形質の変更（土地をならす等）の有無（いずれかを丸で囲むこと。） | 有・無 |
| 盛土及び切土の計画の有無（いずれかを丸で囲むこと。） | 有・無 |
| 盛土及び切土の計画がある場合，当該計画が必要な理由及び造成内容 | 理由  　　　　　平方メートル  盛土　　　　　センチメートル  切土　　　　　センチメートル |
| 土砂の流出を防止する対策内容 |  |
| のり面の保護対策方法 |  |
| 擁壁（土留めの高さ） | センチメートル |
| 擁壁の高さが1メートルを超える場合，擁壁の安全対策内容 |  |
| 事業区域内の崖の有無（いずれかを丸で囲むこと。） | 有・無 |

４　敷材の種類

|  |  |
| --- | --- |
| 敷材の種類（敷材は，廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号），茨城県土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例（平成15年茨城県条例第67号）及び五霞町土砂等による土地の埋立て，盛土及びたい積の規制に関する条例（平成2年五霞村条例第21号）の規定に反するものでないこと。）（いずれかを丸で囲むこと。） | 敷材無し・砕石・防草シート・アスファルト  その他（　　　　　　　　　　　　） |

５　良好な景観形成への配慮

|  |  |
| --- | --- |
| 自然景観，市街地及び住宅地の景観を阻害しないような配慮内容 |  |

６　環境の保全

|  |  |
| --- | --- |
| 民家及び道路沿いに隣接する太陽光発電設備の配慮内容 | 緩衝帯の有無　　　　　　有・無  境界からの後退距離　　　メートル  近隣関係者との合意　　　有・無  配慮内容 |
| 事業区域への立入防止の囲い | 高さ　　　メートル |
| メンテナンス体制（いずれかを丸で囲むこと。） | 設置者・外部委託 |
| 定期的な保守点検及び清掃内容 | 保守点検　　　回実施  内容  清　　掃　　　回実施  内容 |

７　除草

|  |  |
| --- | --- |
| 除草計画の有無（いずれかを丸で囲むこと。） | 工事期間　　　有・無  保守期間　　　有・無 |
| 除草方法（いずれかを丸で囲むこと。） | 工事期間　　　草刈・薬剤散布  保守期間　　　草刈・薬剤散布 |
| 散布予定薬剤名 |  |
| 散布予定薬剤の散布の範囲及び回数（図面を添付すること。） | 工事期間　範囲　　　　　　回数  保守期間　範囲　　　　　　回数 |
| 事業区域外に薬剤が飛散しないための対策内容 |  |
| 薬剤散布前の地域住民及び近隣関係者への周知方法 |  |

８　使用予定の工事車両

|  |  |
| --- | --- |
| 使用する工事車両の種類及び台数 |  |
| 工事車両の通行時間 | 午前・午後　　時　　分から  午前・午後　　時　　分まで |
| 工事車両の往復回数 | １日　　回 |
| 工事車両による騒音及び振動の対策内容 |  |
| 工事車両の安全対策内容 |  |

９　使用予定の建設機械

|  |  |
| --- | --- |
| 使用する建設機械の種類及び台数 |  |
| 建設機械の使用時間 | 午前・午後　　時　　分から  午前・午後　　時　　分まで |
| 建設機械が低騒音型の機械であるか（いずれかを丸で囲むこと。） | 低騒音型・それ以外 |
| 建設機械による騒音及び振動の対策内容（騒音規制法（昭和43年法律第98号）又は振動規制法（昭和51年法律第64号）に基づく特定建設作業に該当する場合は，その旨を記載すること。） |  |
| 建設機械に係る安全対策内容 |  |

１０　工事車両及び建設機械並びに工事に伴う騒音及び振動に係る地域住民及び近隣関係者への配慮

|  |  |
| --- | --- |
| 地域住民及び近隣関係者への配慮内容 |  |

１１　緊急連絡先

（工事期間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 騒音，振動，薬剤散布その他事業者の行為による苦情発生時の緊急連絡先 | 事業者又は緊急対応者 | 住所  氏名  電話 |
| 工事施工者 | 住所  氏名  電話 |
| 現場責任者 | 住所  氏名  電話 |
| 告知看板に記載する緊急連絡先 |  | |

（保守期間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 緊急連絡先 | 事業者又は緊急対応者 | 住所  氏名  電話 |
| 工事施工者 | 住所  氏名  電話 |
| 保守点検事業者 | 住所  氏名  電話 |
| 告知看板に記載する緊急連絡先 |  | |

１２　安全対策内容

|  |  |
| --- | --- |
| 工事中の事業区域内への侵入対策内容（例　事業区域周辺への囲い） |  |

１３　設置予定の太陽光発電設備

|  |  |
| --- | --- |
| 設置予定の太陽光発電設備の種類及び数 | 太陽光パネル（モジュールごとの出力及び枚数）  パワーコンディショナー  キュービクル  その他 |
| 太陽光パネルの色 |  |
| 太陽光パネルの反射光対策内容（一般社団法人太陽光発電協会の定める「太陽光発電システムの反射光トラブル防止について」を参考に対策すること。） | 想定される反射光の方向  トラブル防止策 |
| 太陽光発電設備から生じる騒音対策内容 |  |

１４　設置予定の太陽光発電設備架台（一般社団法人太陽光発電協会の定める「10kw以上の一般用電気工作物　太陽光発電システムの基礎・架台の設計・施工のチェックリストと留意点」を参考にすること。）

|  |  |
| --- | --- |
| 設置予定の太陽光発電設備架台の種類，数及び高さ | 架台の種類  架台の数  架台の高さ |
| 架台の構造が日本産業規格JISC8955を満たしているか |  |

１５　緊急対応マニュアル

|  |  |
| --- | --- |
| 緊急対応マニュアルの作成及び更新 | 緊急対応マニュアル  緊急時連絡網  提出日 |

１６　異常が発生した場合の町並びに地域住民及び近隣関係者への連絡

|  |  |
| --- | --- |
| 町への連絡方法 |  |
| 地域住民及び近隣関係者への連絡方法 |  |

備考　事前協議に提出する際，未確定の事項については，（予定）と記載すること。